

天白歴史探訪マップ

天道・塩釜ロコース (八事～塩釜口)

「天白溪」

昭和の初め頃、名城大学の東から八事霊園北東にかけての一带が、当時、尾張巨鯨の一つ「天白溪」と呼ばれ、市民の行楽地として賑わった。「上池」に水上飛行機が浮かび、「下池」にはボートがあり、山辺に料理屋、カフェ、芝居小屋、高級料亭「白水園」、大型の滑り台などがあった。現在は「上池」が埋め立てられて名城大学のグラウンドになり、「下池」は児童公園にわずかな小池を残すのみで、往事をしのぶものはない。衰退の理由は、昭和7年7月の豪雨災害で「上池」が決壊し、遊園地が流出したことだった。



「八事の蝶々」

かつて八事への行業客相手に売られていたみやげもの。創始者は、前田柳右衛門で、明治維新で禄を失った士族の内職として作られた。一時断絶したが、昭和40年代後半に加藤かなが復活させ、平成14年に「八事の蝶々保存会」が発足し、現在まで継承している。蝶々の胴をきびがら、羽を竹ひごで作り、半紙を張り、五色で彩色したものを竹の小枝の先に付ける。
※きびがら…黍(きび)やトウモロコシの茎

「八事遊園地跡」

大正元年(1912)、高照寺前を南へ、昭和高校手前に16万坪の遊園地があった(現市バス停「表山1」東側)。園内には草競馬場や遊具が整っていた。現市バス停「八事表山」東側辺りが「上池」、南が「下池」で、貸しボートがあった。夏は池で泳ぐことができた。八事の電車は行業客で混雑した(東山動植物園ができてから衰退した)。

この辺りが「八事遊園地」跡
現在低層の分譲マンション

散策コースご案内

- 1 八事交差点 約3分 五社宮 約7分 高照寺 約13分
- 善光寺 約7分 佛地院 約5分 八事神社 約5分
- 塩竈神社 約7分 御幸山 約18分 八事交差点
- 2 約7分 日光院 約18分 大学院 約20分 島田交差点
- 善光寺 約7分 日光院 約18分 大学院 約20分 島田交差点

※所要時間には個人差があります。

天白歴史探訪マップ 天道・塩釜ロコース (八事～塩釜口)

〈企画・作成〉天白ガイドボランティア歴遊会
〈監 修〉(故) 黒川 光雄 〈発 行〉天白区役所
〈初 版〉平成 25 年 (2013) 3 月 〈第 2 版〉令和 3 年 (2021) 3 月
〈第 3 版〉令和 6 年 (2024) 3 月

①「日岳山 東連寺」曹洞宗

創 建：天正 2 年(1574)、清須に開山。清須越えで南寺町へ。大正 3 年(1914)に現在地へ。昭和 20 年に戦災で焼失し、仮堂から、平成元年に木造建築で再建。

本 尊：地藏菩薩

境 内：「剣塚」があり、尾張刀工(尾州三作)氏房・信高・政常のうち、氏房・信高の墓は当寺に、政常の墓は近くの西光院にある。

②「八事山 聖徳寺」真宗大谷派

創 建：寛喜年間(1229 ～ 32)に美濃太浦郷に建立された。その後、永正年間(1504 ～ 21)に中島郡富田村へ、慶長 7 年(1602)に清須へ、慶長 15 年(1610)に名古屋東寺町へ、寛永 15 年(1638)に七間町へ移り、当地で戦災。平成 5 年(1993)、現在地へ移転。

本 尊：阿弥陀如来

その他：天文 22 年(1553) 4 月下旬、富田の寺院で織田信長と斎藤道三が会見したことは歴史上有名である。鉄筋コンクリート造りの本堂は立派な建物。

③「宗源山 浄久寺」曹洞宗

創 建：永 禄 11 年(1568)、清 須 に 建 立。慶 長 15 年(1610)、清 須 越 え で 南 寺 町 へ。大 正 12 年(1923)、現在地へ移転。戦災で山門以外焼失。以後、再建。堂内にある千手観世音菩薩の腹部には、悪七兵衛平景清(侍大将)が矢尻で彫ったという胎内仏が納められている。

本 尊：大通智勝仏(如来)

境 内：初代西川鯉三郎の碑がある。

④「即得山 一心寺」真宗大谷派

創 建：明治 32 年(1899)に説教所として設立され、昭和 33 年(1958)、宗教法人「石坂教会」誕生。昭和 37 年(1962)、東本願寺より寺号許可となり一心寺を創建。昭和 43 年(1968)現在地に移る。本堂はビル 2 階建て。当時は八事地区の文化センターで、若い人たちが学んだという。

本 尊：阿弥陀如来立像

その他：明治～昭和初期頃、石坂の湯豆腐の「近江屋」ができ、藤の棚下で賞味するのが人々の楽しみだったという。

⑤「五社宮」

祭 神：日宮、月宮、星宮、神明宮、祇園社(津島天王社)を祀る。寛保元年(1741)、丹羽郡稲木荘寄木村の天道宮を遷座。当時は高照寺境内にあったが、明治維新に、神仏分離令により独立した。

⑥「天道山 高照寺」臨済宗妙心寺派

創 建：前身は、延喜式神名帳に記載のある稲木神社。享保 9 年(1724)、天道山高照寺と改め、寛保元年(1741)、現在地へ。本尊は天道大日如来、拝殿は神式、本殿は仏式。拝殿に神様、仏様のお名前が紹介されている。江戸時代は駿河街道沿い(八勝館辺り)まで境内が広がっており、尼寺で尾張徳川家の女人の祈願所であった。

◇尾張名所図会より「きり花にして尼寺はおしろいも紅も仏にたてまつるらむ」売茶園

⑦「善光寺山 善光寺」天台宗

創 建：明治 43 年(1910)、篤志家が開山

本 尊：阿弥陀如来

本 堂：木造入り母屋造り唐破風造り

境 内：四季に応じた樹木が美しい。参道に並ぶ石仏は 88 体。

◇江戸時代、善光寺辺りは「尾張名所図会」に「東山の春興」として、名古屋衆の遊行地として紹介されている。

⑧「東天山 日光院」天台寺門宗

創 建：不詳。大正 2 年(1913)、中区東新町から当地に移転。平成 22 年(2010)、木造の本堂と庫裏が改築された。本尊は毘沙門天で、稻荷社、石仏は本堂西に移転。

⑨「音聞山 佛地院」曹洞宗

創 建：明徳 4 年(1393)、南北朝統一直後に開創された末寺を持つ真言宗の一本山だった。以後、荒廃したが、大正 5 年(1916)に現在地に移転し、宗派も曹洞宗に改宗。

本 尊：釈迦牟尼仏

本 堂：入母屋破風造り(檜造り)

境 内：約七千坪、池約千坪、山門、開山堂、ふれあい観音堂、保育園、土俵など

⑩「不動山 大学院」真言宗醍醐派

創 建：寛永 18 年(1641)、この地に草堂を結び、本尊を奉安した。旧大聖寺の学問所であった。

本 尊：青面金剛

境 内：本堂、山門、役行者堂

その他：弘法大師の密教寺院

⑪「八事神社」

創 建：明治 43 年(1910)、村内三ヶ所の神社を合祀

祭 神：大伴武日命、高御産巢日命、品陀和気命(応神天皇)

境 内：「力石」があり、説明札がある。本殿、拝殿、境内は改築された。神社前の道は古道が残る。

⑫「塩竈神社」

創 建：弘化年間(1844 ～ 47)、旧八事村の豪農の山田善兵衛氏が宮城県塩竈神社から分霊を賜り、奉祀したことにはじまる。

祭 神：塩土老翁命

境 内：本殿、拝殿などが整備されている。

その他：戌の日、大安、日曜日は安産と子どもの幸せを願い、家族ぐるみの参詣が多い。

⑬「御嶽神社」

創 建：不詳。明治 21 年(1888)、堀川端にあった社を現在地に遷座。

祭 神：御嶽大神

境 内：平成 9 年頃(1997)まで荒廃していたが、その後、整備されてきた。

⑭「御幸山 (音聞山)」

・御統監碑・御野立所碑

明治 23 年(1890)、明治天皇が陸軍大演習で諸軍を統監。大正 2 年(1913)、大正天皇が陸軍特別大演習で御野立所として再び統監。村民はこれを記念として碑を建てた。

・御幸山中学校校舎東テラス

天白区東方面が望める場所で、眺望は素晴らしい。写真入りの案内板がある。

⑮「島田城跡」

築 城：不詳

道路南側の小高い丘が昔の城跡の一部である。

室町時代、尾張・遠江・越前の三国の守護であり、室町幕府の管領家といわれていた斯波高経の末裔である牧氏の城である。

時に織田信秀が、末盛城を築いたのち、鎌倉街道からの攻撃にも備え、小林城(現、矢場町清浄寺)を築き、妹婿の牧長義に守らせていたが、牧長義はその出城として島田城を修築したものである。そして、自分の母方の牧氏一族に守らせたという。

広さは東西約 76m(42 間)南北約 182m(101 間)あったが、現在は本丸部分に牧神社を祀るのみである。

⑯「島田神社」(元、熊野社)

島田城の鬼門除けの守護神として熊野権現を祀った。明治 42 年(1909)、村の神々を合祀し、現在に至る。

祭 神：伊邪那岐之命、伊邪那美之命をはじめ十一祭神

⑰「古厩山 島田地蔵寺」曹洞宗

嘉吉 2 年(1442)、斯波一族の樵山和尚が島田山広徳院として建立。延徳 3 年(1491)、大洪水で破壊されたが、明応 9 年(1500)、瑞泉寺秀建和尚が再建、島田山地蔵寺に改名。永禄 3 年(1560)、桶狭間合戦の折、焼失。牧義汎が再建し、古厩山地蔵寺と改名。別棟の地藏尊は「毛替地藏」「雨降地藏」ともいわれている。

本 尊：阿弥陀如来坐像

本 堂：寄棟造り

⑱「周岳山 政林寺」臨済宗妙心寺派

創 建：元亀元年(1570)、加藤図書助順政(熱田船津の豪族)が建立。戦災で焼失し、一時、伝馬小学校跡にあったが、平成 3 年(1991)、現在地に移転。土原の高台にあり、眺望素晴らしい。

本 尊：大悲救苦聖観音菩薩